

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 火 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	経済と経営 (現代金融入門) Economics and Business (Introduction to Finance)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:阿萬 弘行 /Eメールアドレス:aman@nagasaki-u.ac.jp /研究室:東南アジア研究所 3階 /オフィスアワー:火曜日 2時30分~4時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 現代の金融システムを理解するための重要なツールである金融理論について、その基礎を習得すると共に、証券理論を中心とした講義を行う。 授業方法: テキスト、参考書を用いて、主要な内容を講義する。 練習問題やレポート等の課題を通して、学習内容の定着を図る。 授業到達目標: 証券の価値評価の基礎的手法を説明できるようにする			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 第1回 インTRODクション:金融市場の基本的仕組みについて 第2回 リターンの評価方法:キャッシュフローの現在価値と将来価値 第3回 リターンの評価方法:キャッシュフローのリスクと価値評価 第4回 債券市場の仕組み 第5回 債券の分析方法 第6回 株式市場の仕組み 第7回 株式の分析方法 第8回 市場の効率性 第9回 ポートフォリオ理論 第10回 資本市場理論 第11回 派生市場 第12回 行動ファイナンス:投資家の心理 第13回 行動ファイナンス:アノマリー現象 第14回 講義のまとめ及び補足 第15回 定期試験			
キーワード	金融 証券		
教科書・教材・参考書	榊原茂樹ほか「入門証券論」有斐閣		
成績評価の方法・基準等	定期試験 70% 提出物 30%		
受講要件(履修条件)	特になし		
本科目の位置づけ /学習・教育目標	発展的な金融・経済関連科目の基礎と位置づけられる		
備考(準備学習等)	並行して数学・統計学を学習することが望ましい		